



中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 柳井洋 編集責任者：広報部会長 山口修 連絡先(0438)63-3888

平成28年度・中富地区社会福祉協議会の事業活動を振り返って

中川富岡地区社会福祉協議会

会長 柳井 洋



皆様には、日頃より中富地区社協の事業活動に多大なるご理解、ご協力及びご支援を賜りまして心より感謝と御礼を申し上げます。

中富地区社協は、地域の高齢化率が上昇し高齢化社会が進むなかで「市民みんなが支えあい、一人ひとりが安心して健やかに暮らせるまち」を基本に、主として高齢者とのコミュニケーションの推進と地域福祉の向上を目指して地域の皆様と一緒に活動をしています。さて、今年度の主な事業を振り返ります。

○ 70歳以上を対象とした9月の第24回中川富岡地区敬老会は、170名のご参加をいただき、結婚50周年の12組のご夫妻にご来場者の中での最高齢者男女の皆様への各記念品贈呈、各種演芸アトラクション、健康体操、防犯講話、抽選会と盛大に開催することができました。

○ 70歳以上のひとり暮らし高齢者への給食サービスは、給食部会員と給食ボランティアが年9回の第3水曜日に、高齢食に気を配ったレシピと心込めて調理した給食を「タンポポ通信」のお便りを添え、民生委員が高齢者皆様への「お見守り」を兼ねてご自宅へお届け



けついています。

○ 「いきいきサロン」事業は、阿部、小路第一、滝の口、成蔵、上宮田及び大鳥居の6会場で開催し、百歳体操、防犯講話、唱歌合唱及び茶話会を実施しました。このサロン事業も定着化し、地域での自主的なサロンが運営されてきています。新年度はさらに充実させて地域を広げてまいります。

○ 「お花見風食会」「ふれあい交流会」「中富いきいき料理教室」「友愛訪問」は例年どおり開催されました。

これらすべての事業実施にあたりまして、皆様の温かいご理解と、ご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

なお、4月からの平成29年度事業活動につきましても、さらに充実・拡大すべく中富地区社協の関係者の全員が一層の努力をいたしますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「深めよう、地域のきずな」

(第9回袖ヶ浦市地域福祉フェスタ)

去る11月27日(日)午前10時30分から平川公民館で「地域福祉フェスタ」が開催されました。このフェスタは、地域の福祉関係団体が連携して地域住民との協同や交流を図る目的で、今回は中川富岡地区が開催



地区となりました。当日は「平成28年度社会福祉協議会表彰」も開催され、公民館の各会場では福祉団体の発表や展示、前庭では中富地区社協の事業推進委員による「焼きそば、焼き芋」を始め、たぐさんの模擬店が出ていました。また、メイン会場の体育室では、中川小学校や平川中学校、シニアクラブ、ボランティア協議会、社会福祉施設連協などが「踊り、合唱、活動発表」を繰り広げていました。楽しいフェスタに来場者や参加者は満足気でした。

「いきいきサロン」を開催

地域のなかで高齢者の交流を進める「いきいきサロン」が地区社協活動の主要な事業となっています。去る11月2日(水)に成蔵公会堂、2月2日(木)に上宮田集会所、2月27日(月)に大鳥居公会堂で、それぞれ午後1時から地域の高齢者が集まってサロンが開催されました。「サロン」では、百歳体操、防犯の講話、唱歌合唱そして茶話会が行われます。当日は、主催者のあいさつの後、袖ヶ浦市包括支援センターの保健師による「三



二百歳体操」をして元気になり、中川駐在所の河上さんによる防犯や防災のお話を聞き、全員による唱歌の合唱そして給食部会員の手づくりお菓子等でお茶をいただいで2時間を過ごしました。地域のお年寄りが一堂に会して「楽しいひと時」を過ごして長生きと健康寿命の増進に役立つ「いきいきサロン」になっています。

「民生委員・児童委員」が改選

袖ヶ浦市の民生委員・児童委員及び主任児童委員に去る12月1日付で委嘱状が交付され、新委員による活動が開始されました。委員の任期は3年とされ、各々の担当する地区で社会福祉活動を行います。またこの方々には、中富地区社会福祉協議会の「制度ボランティアの代表」として「事業推進委員」を委嘱し、中富地区社協の事業活動を推進していただくこととなります。今後は地域の皆様にも民生委員・児童委員及び事業推進委員へのご理解とご支援をお願いいたします。

中富地区民生委員・児童委員

担当地区	委員名
百目木	宗政 恒興
小路第1・小路団地	感王寺 敏子
小路第2	多田 啓三
上宿・中川団地	鈴木 順一
中下・山中・大鳥居	大野 毅
野添・成蔵・三黒・谷中	吉田 新吉
下根岸・阿部・堂谷・打越・打越団地	大竹 孝
大竹・上宮田・下宮田	中山太一郎
主任児童委員	小林 清子

※ 吉野田・岩井作・滝の口・玉野・滝の口ファミリアタウンの担当は選任中です。

《民生委員・児童委員とは?》
それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人 (厚生労働省)

「災害」発生時の対応を学ぶ (中富地区社協の視察研修会)

中富地区社協の視察研修会が去る11月24日(木)に横浜市市民防災センター等を訪問して実施されました。当日は会長以下32名の参加があり、最近では珍しく中富地域では積雪を



観測するほどの大雪の舞うなかでの視察研修でした。研修施設の横浜市市民防災センターは昭和58年に設置され「市民等に対する防災・減災教育の場」等を基本的な役割とされているものです。センターの女性職員

の案内で参加者は「地震シミュレーター、火災シミュレーター、減災トレーニングルーム、災害シアター」等の災害体験施設を回り、実際に地震や火災を想定した疑似体験と緊急の対応動作をして「防災・減災」を学びました。普段の想定外現象にびつくりやら恐ろしいやらで災害時の人のもろさを実感しました。また、地域のお年寄りや子供たち等災害における弱者を守るといふ使命を持つ中富地区社協の一員として大いに参考になりました。昼食は横浜中華街でおいしい中華料理を食べました。午後は「横浜博物館と日本丸」を見学しましたが、あいにくの雪交じりの雨で見学も大変でした。今回の研修では、改めて大規模災害時における地区社協とその一員として事業推進委員の役割を考えさせられた研修でした。果たして「いざ」というときには大丈夫かな?と不安にもなりました。

中富地域の話題

「諦めずに前進を」 (平成29年袖ヶ浦市成人式)

去る1月8日(日)午前10時30分から平川地区成人式が平岡公民館多目的ホールで開催されました。当日は成人を迎えた107名(出席率83.6%)が出席し、地元選出市議会議員、自治連地区会長及び主催者として教育長他関係者が列席して新成人の司会進行により記念式典が厳かに実施されました。主催者あいさつでは「自分自身の夢や目標を持ち、困難なことがあっても諦めずに努力をし、前に進んでいただきたい」という出口清市長の



お祝いのメッセージが披露されました。来賓祝辞を小国勇議員が披露して、最後に井上旭さんと松本季夏さんの新成人代表のあいさつがあり、ふるさとや地域の人々、両親や家族への感謝と成人としての決意を述べられました。式典終了後の記念行事は、中学校当時のビデオレターで懐かしく振り返り、未来郵便を投函し、最後は出席者全員による記念撮影で成人式は終了しました。久しぶりの出会いに出席した成人の

親子三代もちつき大会 (小路第二区)

年末の12月25日に小路第二区公会堂で親子三代もちつき大会を開催しました。餅つきは今年が初めての区の行事の一つです。



当日は、小学生たちとその親、またおじいちゃん、おばあちゃんの大勢の区民で楽しくにぎやかに餅つき音を響かせました。参加区民も62名になり杵を持つ順番の列ができる程です。初めて見る臼と杵に子供たちも興味津々、親の助けを借り元気よく餅つきを経験しました。孫の姿にシニアも目を細め餅の返しや取り手でいきいきと、まさに昔取った杵柄で大活躍でした。年末、年始の風物詩を少しでも現代の子供たちに伝え、経験させていくことが地域活性化の一つの方策になることでしょう。

編集後記
「鬼は外、福は内」の声を聞いたと思ったら3月となり学校では卒業式シーズンを迎えています。昔から「一日が長く一年を早く感じる」のは年取った証と言います。地区社協への日頃のご支援に感謝を申し上げます。